



暑中お見舞い 申し上げます 平成30年盛夏



(笑う埴輪)

〒 349-0101 蓮田市黒浜 3 1 1 1 - 2

大畑電研株式会社

代表取締役 **大畑善夫**

TEL 048-769-1191 (代) FAX 048-768-0718

E-mail ohata@ohdk.co.jp http://www.ohdk.co.jp

電気科学情報

二年持たない 防犯装置のHDD

防犯カメラは年々増加しています。当初の防犯設備はまず警報を発することでした。



そして費用次第で電話回線を使い何処にでも通報できるようになりました。それなりの効果がありましたが犯行後の犯人の特定は難しく当社でも数度の盗難被害がありました。一度も犯人は検挙されていません。犯人の映像があれば捕まえられるのに、と警察官がいました。

防犯カメラの基本システムは①レコーダー本体②カメラ③記憶装置(録画装置)です。

目的、グレードにより家庭用、車載用、業務用さまざまありますが意外なのは録画装置です。録画装置は大別して2通りあります。SDカードとHDD(ハードディスクドライブ)があります。

録画付の防犯カメラはその効果が期待され、その設置数が年々増えていますが、思わぬ問題が出始めています。録画装置が予想外に早く消耗し交換に予想外の費用が掛かることです。例えば下記のような一般機種の場合です。



SDカードやHDDはレコーダー本体にありますが消耗品です。標準寿命は1~2万時間ありますが一年間は8760時間、使用条件では三年前後でHDDの交換になります。更に定格時間は周囲温度25度が前提です。そのため冷却ファンがついていますがこれも消耗品です。SDカードのみの交換ですと手軽に交換できますがHDDの場合、レコーダー本体を開けての交換作業やHDDのフォーマット、場合によってはアプリケーションの再インストールや再設定が必要となります。通常、メーカーに依頼することになります。10万円前後かかる場合もあります。

AI には無理かも

東大教授も云ってます



AI(Artificial Intelligence)を搭載したロボットが人間界に進出し、やがて人間は要らなくなるのではないかと、という不安情報が流れ続けています。この問題については1年前この欄でとりあげました。その後の1年間メディアは花々しいAIの活躍を取り上げていますが、AIの意外な反面は取り上げません。

意外なというのは、マトモな人間なら子供でも分かることが出来ないことです。例えでいうなら、偏差値だけは高いが、教育パパママに育てられた坊やがキビシイ世間にでた構図です。

コンピューターが人間社会に役に立つのは、人間の代わりに機械を動かし、人間より早い演算機能のハードをどのように人間の役に立たせるかということではないのでしょうか。ほぼ作り話と思いますが中国製のスーパーコンピューターに、その国の政治について意見を聞いたところ、この体制はよくない、といったといひます。

鄭 雄一という東大教授(バイオエンジニアリング)の著書「東大教授が挑むAIに「善悪の判断」を教える方法」にはロボットが人間と共生するための「道徳エンジン」について興味あることを書いています。

道徳思想を大別して「社会中心」にするか「个人中心」にするかの問題がありますが、それをどのように定義し書き込むか難問です。仮にそれもAIに任せたとして、その「道徳エンジン」は我が国の国策に合わない、プログラムを書き換え「道徳エンジンII」と差し替えろ、ということになります。

AIで簡単にできそうなソフトがあります

各種会合の挨拶(場所と名前だけ入れ替えるだけ)

NHK アナウンサー風のユーモアソフト(version)

関西芸能人風バージョン 和田アキ子風 v 上沼恵美子風 v 辻本清美議員風 v 岡本太郎風 v



予知予言様々 その1

7月22日前後 富士山噴火!

ゲリー・ボーネル スピリチュアル系の大物著名人。信奉者多数。当たったら大変。当たらなくとも大変。

消防法の珍事

法律は数え切れない程あります。聖徳太子の時代は17条しかありませんでしたが現在大別だけでも10項目以上あります。私が多少知っているのは道路交通法と建築基準法、電気設備技術基準、消防法ですがこのように分けると200以上あります。長い名前の一つ「武力攻撃事態等及び存立危機事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律」は一息では云えません。

この議題が国会で論争される場面を想像するとジグムジグムの落語が思い出され楽しくなります。

電気工事と消防設備を併業してその差異を感じるがあります。建築基準法や電気設備技術基準がほぼ実態に即しているのに消防法は上から目線、トップダウンの権力嗜好が強いことです。法律の全てに言えますが法は本来最大多数の庶民の為にあるはずです。そのためにルールがあり罰則があるのは当然です。ただ、許認可権、罰則を行使する人間が希にサイコパス(感性の欠落)であると大変です。

私が感じる消防法の最大の疑問は費用対効果(コストパフォーマンス)が欠落していることです。それを指摘すると「人命は地球より重い!」それが分からぬかという権威語で議論になりません。古典的権威語は「殿に逆らうのか!」「非国民!」「ムコドの!」等です。一人命の重さを説くなら聖書の1匹の羊の例えを読んでからにして下さい。古い消火器の取り扱いでの死傷者が過去数名いますが苛めで自殺する小中学生は300名以上います。今年3月トップダウンの総務省から珍しく意見公募が出されました。「消防庁は、消防法施行規則等の一部を改正

する省令(案)等の内容について平成30年3月6日から平成30年4月4日までの間、意見を公募します」平成30年3月5日付けで公示されました。宛先は「総務省消防庁予防課」で担当者名と電話番号とFAX番号が書かれています。気がついた方は極く一部の方です。「意見がある方は明日から一ヶ月以内に申しでること」と人目に付かぬよう小さな張り紙をだしたのです。半世紀前月面着陸したアームストロング船長の言葉を思い出します。「…それでも消防行政にとっては大きな一歩です」



笑う埴輪

(表紙の絵)

笑う埴輪

(本庄市指定文化財)

縄文時代に作られた土の焼きものが土偶で、弥生時代古墳に並べられたものが埴輪というようです。土偶も埴輪も時代を超えて人の心を和ませてくれますが、平成10年~平成11年(1998~1999)にかけて本庄市の「小島前の山古墳」から出土した三体の「笑う埴輪」はユニークです。

平成24年当時優秀作文賞を受賞した(桜井徳太郎賞)の本庄市立中央小学校五年生、斉藤大地君の作文によれば/5世紀の埴輪は笑っていない六世紀の埴輪は笑っているものがあつた/本庄18点、行田27点、計45点うち、本庄市出土の6点だけが笑っていた/六世紀になると関東地方の治安がよくなつてきたせいではないか/と考察しています。

因みに昭和5年(1930)熊谷市の野原古墳跡地から発見された「踊る埴輪」(本当は馬を引いている姿)があります。ユーモラスな手振り表情から埴輪の定番の一つとなっています。

「笑う埴輪」は本庄市のマスコットキャラクター「はにぼん」のモデルにもかかわらず知名度ではイマイチです。理由は「踊る埴輪」が発見されたのが約九〇年前「笑う埴輪」が約20年まえという年代差があり埴輪店では展示されることは希です。この世界ではまだ新しいのです。陳列されていない理由の一つが大きさにもあるかと思ひます。「踊る埴輪」が大69.3cm小56.5cmに対して「笑う埴輪」は115センチもあるのです。現物は本庄市旧本庄警察署の歴史民俗資料館のガラスケースに鎮座していますが、手軽に部屋に飾ることが出来るようA4サイズ以下のレプリカにしてこの笑顔を多くの人に見て貰えればと思ひました。

写真撮影が可能か問い合わせたところ、意外に「写真お構いなし」ただし、ガラスケースごしなので反射光が気になるでしょう。良ければ実物の写真を差し上げますと快諾されました。

レプリカは私が作るわけではありません。陶器で有名な益子町があります。陶芸家、陶芸店はいろいろありますがここで埴輪を作るのは「おおつか埴輪店」です。此処の店主とは何十年来の知己です。過去私のアイデア品を含め様々な贈答品を作つて貰いました。



(はにぼん)

何事も同じことが言えると思ひますが埴輪作りは技術だけでなく埴輪の心が分かる人である事が必要です。本庄市の資料館の承諾を伝えおおつか埴輪店に製作を依頼しました。

宮崎県平和台公園のはにわ園

400体のはにわは全て本部マサさんの寄贈品です



はにわ製作者 本部マサ 明治四〇年~平成三年

◎製作者マサの人柄

マサがはにわ作りで心掛けたことは顔の表情であった。人形作りや面彫刻などでよく耳にすることであるが、顔は制作者に似てくるというもので彼女も同様なことを言っていたという。素朴な表情は目で決まると考え、近所の子供たちとよく遊んだ。童心に学ぶ、童心にかえる、このことを常に考えてはにわを制作した。マサのはにわに魅せられて多くの有名人がエ



場を訪ねてきた。その中に川端康成もいた。1964(昭和39)年、NHKの連続テレビ小説「たまゆら」取材のため宮崎市を訪れたときのことである。1985(同60)年、マサの業績をたたえようと表彰が話題となったが、彼女はそれに対し、自分が作っているはにわは古墳時代の人々が制作したはにわの模倣で自分の創作ではないと丁寧に断つた。身内は名誉なことであり製品も売れると大いに喜び、申し出を受けるように勧め、また、県の担当者も何回も足を運んだが断つたという。



黒浜沼に蓮を甦らせる

ミドリガメは害獣NO1

黒浜沼に再び蓮を復活させよう

平成14年のある日、一度絶滅した黒浜沼の蓮を復活させようという人達が集まり、沼際の休耕田20坪ほどに赤、白の蓮（食用蓮）を栽培しました。三年後一面に繁茂した蓮は予定通り畦を超え沼に進出した。元の古代蓮では無かったが赤い食用蓮がヘドロの沼地に予想外の生命力で広がっていったのです。

事情を知らない人々は古代蓮が復活したと思ったようです。市の広報などにもそのように解説されたが、真実は二点違います。古代蓮でなく食用蓮です。自然発生ではなく「黒浜沼の魚を守る会」会長 - 鮎村鯉太郎 - という半ばジョークで命名した十人前後の近隣及び同好の者達の5年がかりの成果なのです。

その結果上沼の西側一面、蓮の群落が形成され半世紀前の姿に戻ったのです。その後約10年間夏になるとこの沼に蓮が咲くのは当たり前になっていました。ところが5年前頃から蓮が減少し始め二年前にほぼ絶滅し今に至っております。

異変に気づいたのは黒浜沼に魚釣りに来ている常連の人達です。数年前からミドリガメがかかり始めたのです。時には一人10匹も！です。

無くなったの蓮だけでなく水藻も姿を消しました。トンボも減ったみたいです。異常繁殖し巨大化したミドリガメが蓮の芽を食ってしまい、トンボの（幼虫の）ヤゴを喰ってしまったのではないかと。たまたま明石市にある同じような沼の蓮が同じように消滅しました。原因は放棄されたミドリガメが異常繁殖し巨大化したものと特定し、市が対策を実施したところ数年後また蓮が甦った事を知りました。対策というのは行政の積極的な駆除活動を行い民間が捕獲したミドリ亀の引き取りだったようです。とりあえず「黒浜沼の魚を守る会」のスタッフ5～6人でミドリガメの捕獲装置を作り、復元用の蓮の苗をもう一度育てることにしました。

趣旨賛同の方に「資金カンパ」ご協力をお願いしました。一口一千元です。カンパして頂いた方へのお礼は3年後の7月吉日復活した蓮の花鑑賞会にご招待します。という事でした。

資金の内容は殆どが労務で、進出用の蓮池の苗（地下茎）約3万円、手作りの亀の捕獲の機材2万円ほど。計5万円もあれば足りる予定でした。資金はすぐ集まりました。数社の会社、数十人の方に呼びかけたのはお金だけではなく理解してもらいたかったのです。



4月29日（日）連休初日 実行班7人で休耕の田んぼを耕し蓮の苗（地下茎）を植える。



資金カンパした方のお名前、掲示板

裏実行班（老兵）7名の氏名



それいけ！蓮の勇士 蓮池に建てた趣旨説明

ナカノ式

ミドリガメ捕獲器

亀の甲羅干しの習性を利用して捕獲する。簡単過ぎる仕組みなので当初私始め関係者の評判はヨクなかったが意外な成果があり発案者の名を取りナカノ式カメ取り器と命名



捕獲した亀の一時保管場所（浴槽）

ペットとして昭和の昔の夜店時代から売られていた。正式名はミシシッピーアカミミガメ。売られているときは掌に入るミドリ色の小亀。成長すると15cmから28cmになる。雑食で動植物を見境無く食い荒らし、日本の自然環境を破壊する外来生物の中で特に悪玉代表です。明石市では平成15年7月「アカミミガメ対策推進プロジェクト」を発足させています。

平成28年から環境省や神戸市と連携した「アカミミガメ対策」に取り組んできましたがさらに平成29年4月神戸市と共同で「明石・神戸アカミミガメ対策協議会」を設立しました。

蓮田市では環境課が処分してくれることになりました。それまでの保管場所。元浴槽。沼南側1ヶ 略称「カメの湯」釣りのポイント傍なので釣り上げたミドリガメはここに入れて貰います。



左記は 弁天様前2号保管所

名称ミドリガメ収容所 因みに 環境課はその後 専門業者に1匹6千円！で処分して貰うのだとか。ホントみたいです。



速報版

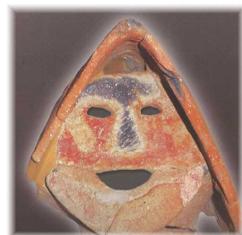
沼の弁天様側に三坪ほどのプレハブ小屋があります。黒浜沼の魚を守る会の活動拠点です。その壁にミドリガメ捕獲の速報版があります。

(6月22日)

黒浜沼の蓮を甦がえらせよう」の当初の計画は三年計画でした。15年前のように沼傍に蓮池を作り、繁茂した蓮の地下茎が沼に進出したとしてもミドリガメがいては同じことです。

進出用の蓮池を作るとともにミドリガメを駆除しなければなりません。任意団体「黒浜沼の魚を守る会」のメンバーも高齢化が顕著です。私を含め80才台が三人います。アディショナルタイム(ロスタイム)の三年計画で黒浜沼に蓮を見よう、と云う目論見でしたがナカノ式カメラ取り器の思わぬ成果で計画変更をしました。二〇坪ほどの進出用の蓮池に蓮の花が咲くのは当然ですが、今年中に(今年の夏)一輪でも蓮の花が見られないかという可能性が出てきたのです。亀の捕獲器は始め試験的に1基でしたが半月後3基に増やしましたが天候の良い日は10匹20匹と(最高32匹)捕れるのです。二ヶ月以内で半数以上捕獲できれば明石市の例を見てもミドリガメの被害は半減するはずです。その後蓮池に植えた同数の苗(地下茎)行田の古代蓮会館で入手し元の蓮の群落地に植えたのです。亀の捕獲数は3月10日以降平均1日5~6匹のペースが2ヶ月経過すると半減しました。釣り上げられる数も激減し、水面に首を出して泳ぐ姿が見えなくなりました。速報版の数値も350匹までは数日毎に数字が動きましたが6月22日漸く401匹に到達しました。

梅雨開けが楽しみです。水面に蓮の葉が見られれば期待出来ます。傍観者の土壌汚染説は消えます。そもそも周辺がほぼ休耕田で工場の排水や住宅の尿尿が垂れ流し地区とは違うのです。黒浜沼に一輪の蓮が咲くことは、「黒浜沼の魚を守る会」及び今回趣旨に賛同されて資金カンパされた人だけでなく此処を訪れる全ての人の喜びです。



盾持ち人埴輪

(奈良茅原古墳)国内最古

毎日が〇〇忌



自分では作りませんが毎週月曜日の新聞の俳句、短歌欄には目を通します。俳句は世界一短い短詩ですが、季語始め約束事が幾つもあります。単に日本語を理解しただけの外国人には無理です。市場の仲買人がその業界の仲間言語、符丁を理解しないと取引が成立しないのと同じです。まず季語が必要です。

季語がなくても風刺が効いていれば、川柳になります。それが無いと、戸籍のない一行詩になります。季語の約束事は簡単ですが、面倒なのはこの世界でしか通用しない言語や今は使用されない古語があります。「山笑う」のような仲間語があり、最低2~30人の文人の命日を覚えている必要があります。〇〇忌です。断腸の思いで死別した家族でも三年、七年と時が経過すると耐えがたい悲しみも薄らいでいきます。それで故人を忍ぶ仕事も一三回忌頃が境で一七回忌は希になります。

俳句を作る人は別です。この世界の「通人」と賞されるためには200人以上の文人とその固有の〇〇忌という呼称を覚えていなければならないのです。ウィキペディアで調べました。1月~12月まで150人前後の〇〇忌が列記されていました。更に、別のサイトを開くと此処にない〇〇忌が次々と出てきます。シロウトには分からない筈です。

本題から外れて面白いことを発見しました。

① (菜の花忌) 4人登録

2月12日 司馬遼太郎 / 3月12日伊東静雄 / 4月20日 前田夕暮 / 3月28日 千利休

② カタカナ人もいます! 3月15日ハワード・フィリップス・ラヴクラフト / 7月15日チェーホフ忌 / ツルゲーネフ忌は何故ないの?

③ 覚えやすい4月9日 ^{キリキリキリキリキ} 吉里吉里忌 井上ひさし / 11月30日 **ゲゲゲ忌**

水木しげる / 8月18日 **太閤忌** 秀吉

④ 参りました / 3月18日人麻呂忌 柿本人麻呂 / 5月28日 在五忌 在原業平 / 11月22日 巢林忌 近松門左衛門



賞の種類



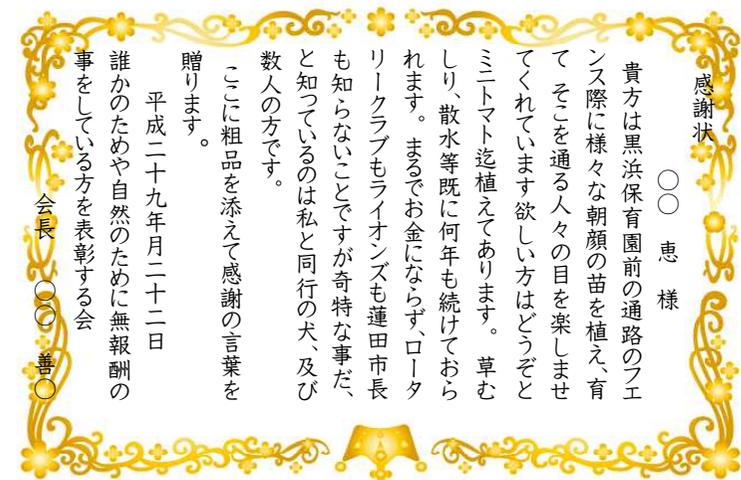
〇 賞の代表はノーベル賞だと思えますが、改めて数えてみると賞の数は膨大です。春の叙勲、秋の叙勲合わせて6ランク合計約9千名あります。こんな名誉の賞を辞退するさらにエライ人がいます。「そんなもの貰ったら立ちショベンもできやしねえ」(プロ野球福本豊)と文化勲章を辞退した豪傑がいます。(プロ野球福本豊)賞金もあります。大概「ごつつあんです」と頂きます。お金だけ貰って全額寄付すると更にカッコいいです。

〇 文化勲章辞退したのは9人 国民栄誉賞3人 ノーベル賞3人 フィールズ賞1人

〇 恐れながら私もある賞の辞退を申し出たことがあります。ある会の役員を辞めた時のことです。賢い方が私に囁きました。「賞というのは貰う人の為でなく上げる人の為でもあるの」

〇 あまり人気のない賞があります。仕事柄年に一度その会の総会に顔を出します。無事予算決算の報告が済んだあと4~5社の功労者の名が呼ばれますが何故か半分欠席です。表彰状だけで唐辛子1年分とか金一封とかが無いのです。

〇 賞は貰うだけでなく上げる側になるのも一興です。勝手に作るのです。



〇 家庭内のできる賞
「お疲れで賞」「おいしいで賞」「良かったで賞」